News release

2026 年 11 月 24 日
PwC Japan グループ
株式会社オプテージ

PwC Japan、コンプライアンス評価支援ソリューション「Cloud Compliance Explorer」を暗号資産交換業者向けに活用へ、実証実験開始

OPTAGE が持つウォレット関連情報の取得・分析の知見を活用し、事業者におけるコンプライアンス対応コストの削減と評価スピードの向上を支援

PwC Japan グループ（グループ代表：久保田 正崇、以下「PwC Japan」）と株式会社オプテージ（代表取締役社長：名部 正彦、以下「OPTAGE」）は、暗号資産交換業者および関連するブロックチェーン事業者向けにコンプライアンス評価支援ソリューション「Cloud Compliance Explorer」を開発し、実証実験を開始することをお知らせします。セキュリティ管理策の準拠状況を可視化する PwC Japan の「Cloud Compliance Explorer」を通じ、自主規制規則やガイドライン対応の効率化を支援します。

背景

2026 年 7 月の改正金融商品取引法の公布を踏まえ、暗号資産交換業を取り巻く規制環境は大きな転換期を迎えています。今後、自主規制規則やガイドラインについても見直しが進むことが想定されており、事業者にはより高度かつ継続的な IT コンプライアンス対応が求められる見込みです。
暗号資産交換業者をはじめとする事業者のシステム環境では、ウォレット基盤や取引システム、アクセス権限管理、運用監視など、多くの統制活動がシステム上で実施・記録されています。
しかし、コンプライアンス評価や内部監査においては、依然として担当者による証跡収集や手作業による確認が多く、対応コストや評価期間の長期化が課題となっています。
こうした課題の解決を目的として、PwC Japan は暗号資産交換業者向けにコンプライアンス評価支援ソリューション「Cloud Compliance Explorer」の開発を進めています。

取り組み概要

PwC Japan が提供する「Cloud Compliance Explorer」は、クラウド環境とツールチェーン全体を横断的に解析し、セキュリティ管理策の準拠状況を可視化するソリューションです。今回、新たに暗号資産交換業者の支援に向けて「Cloud Compliance Explorer」の実証実験を開始します。この取り組みでは、OPTAGE が Web3 ウォレットおよびブロックチェーンモニタリングサービスの開発・提供を通じて培った技術・知見を活用します。
暗号資産交換業者向けの「Cloud Compliance Explorer」は、システムやクラウドサービス、ウォレット管理基盤などから取得した設定情報やログ情報を分析し、自主規制規則・ガイドラインなどの要求事項に基づくチェックルールとの照合を自動的に実施します。これにより、従来多くの時間を要していた証跡収

集や確認作業を効率化し、事業者におけるコンプライアンス対応コストの削減と評価スピードの向上を支援します。
また、本件はブロックチェーン関連ビジネスに係る内部統制・ガバナンス構築支援サービスの一環として展開します。同サービスについては以下ウェブサイトをご参照ください。
https://www.pwc.com/jp/ja/services/assurance/process-system-organization-data-management/control-advisory-assurance-service/blockchain-business-governance.html

「Cloud Compliance Explorer」の概要は以下ウェブサイトをご参照ください。
https://www.pwc.com/jp/ja/services/assurance/process-system-organization-data-management/assurance-automation-tool/cloud-compliance-explorer.html

暗号資産交換業者向け「Cloud Compliance Explorer」の特長
1. 自主規制規則・ガイドラインに対応した業界特化型ソリューション
暗号資産交換業者向けの「Cloud Compliance Explorer」は、自主規制規則やガイドラインを対象としてチェックルールを定義します。クラウド設定のみを対象とする一般的なセキュリティツールとは異なり、規制・ガイドラインの条文単位で準拠状況を評価できます。

2. コンプライアンス対応の効率化
対象システムから設定値やログを収集し、あらかじめ定義されたチェックルールに基づいて分析を行うことで、以下を実現します。
- 証跡収集工数の削減
- 評価期間の短縮
- 評価品質の均質化

3. 監査・評価ノウハウを反映したルールライブラリ
PwC Japan が培ってきた監査・リスク管理・コンプライアンス分野の知見をもとに、継続的にルールライブラリを更新します。変化する法規制やガイドラインに対して、迅速なルール更新を行うことで、継続的なコンプライアンス対応を支援します。

協働会社の取り組み・事業
OPTAGE は、法人向け Web3 ウォレットサービスを中心にデジタルアセット事業を展開しており、国内初の Fireblocks リセラーパートナーとして金融機関等を支援しています。さらにウォレットやスマートコントラクトを 24 時間 365 日監視するモニタリング基盤を提供しています。
OPTAGE が有する Web3 ウォレットサービスおよびブロックチェーンモニタリング領域で培った技術・ノウハウを活用し、ウォレット関連情報の取得・分析機能等について技術支援を実施します。

今後の展開
まずは暗号資産交換業者向けの対応を中心として開発を進め、将来的にはステーブルコイン関連事業者やその他のブロックチェーン関連事業者への展開も視野に入れています。コンプライアンス対応に係る負担を軽減し、事業者が新たなサービス開発や顧客価値創出により多くのリソースを投下できる環境の実現を目指します。

以上

PwC について www.pwc.com

PwC は、クライアントが複雑性を競争優位性へと転換できるよう、信頼の構築と変革を支援します。私たちは、テクノロジーを駆使し、人材を重視したネットワークとして、世界 130 以上の国と地域に 360,000 人以上のスタッフを擁しています。監査・保証、税務・法務、アドバイザリーサービスなど、多岐にわたる分野で、クライアントが変革の推進力を生み出し、加速し、維持できるよう支援します。

PwC Japan グループについて www.pwc.com/jp

PwC Japan グループは、日本における PwC グローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社の総称です。各法人は独立した別法人として事業を行っています。

複雑化・多様化する企業の経営課題に対し、PwC Japan グループでは、監査およびブローダーアシュアランスサービス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、そして法務における卓越した専門性を結集し、それらを有機的に協働させる体制を整えています。また、公認会計士、税理士、弁護士、その他専門スタッフ約 14,400 人を擁するプロフェッショナル・サービス・ネットワークとして、クライアントニーズにより的確に対応したサービスの提供に努めています。

株式会社オプテージについて https://optage.co.jp/

株式会社オプテージは、関西電力グループの情報通信事業会社です。関西一円に保有する独自の光ファイバーネットワークを基盤に、個人のお客さまには、高速・高品質なインターネットサービス「eo（イオ）光ネット」をはじめ、トリプルキャリア対応の携帯電話サービス「mineo（マイネオ）」を展開しています。また、法人のお客さまには企業向け通信ネットワークサービスやデータセンター、システム開発・運用など、幅広い ICT ソリューションを提供しています。

©2026 PwC. All rights reserved.
PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.